

登録コード	E2741900	開講年度	2026				
授業科目	技術と環境					担当教員	村松 浩幸
英文授業名	Technology and Environment					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限		対象学生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	技術の環境に関する多角的視点および専門的知識の獲得
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	学年混成でグループを編成し、オンラインによるグループ演習としてディベートを中心に行う。ディベートでは、各テーマについて、グループで協力しながら取り組んでいく。						
(5)授業計画	※全ての回で【遠隔等】かつ情報機器の活用を含む 第1回：人類の歴史に見る技術と環境の関係 第2回：農業：ディベートの準備① ※情報機器の活用を含む 第3回：農業：ディベートの準備② 第4回：農業：ディベート演習 第5回：遺伝子組み換え：ディベートの準備① 第6回：遺伝子組み換え：ディベートの準備② 第7回：遺伝子組み換え：ディベート演習 第8回：植物工場：ディベートの準備① 第9回：植物工場：ディベートの準備② 第10回：植物工場：ディベート演習 第11回：ディベートの練習と準備 第12回：一押し生物育成技術：プレゼン準備 第13回：一押し生物育成技術：演習 第14回：生物育成の技術の授業構想 第15回：授業提案発表・生物育成の技術とSTEAM教育（含む授業アンケート） 定期試験						
(6)成績評価の方法	試験（40%・技術と環境に関する理論と知識，思考力），課題の取り組みと成果（30%・分析力・思考力，評価力），レポート（30%・考察力と技術科教員としての指導力）で総合して評価。 ・演習課題については，課題毎に書式，内容等の評価項目を設定し，5段階でポイント化した総得点を演習課題評価とする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	課題およびレポートに対して，①概要が適切に説明されている。②基礎的事項が科学的理論に基づいて説明されている。③理論と実際とが比較検討されている。④理論と実際との比較から問題点と課題が把握できている。⑤自分の見解を科学的理論に基づいて考察されている。 ・①～②項目までができていれば「水準にある」 ・①～③項目までができていれば「やや上にある」 ・①～④項目までができていれば「かなり上にある」 ・①～⑤項目までができていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	・演習により時間を割けるように，Google Classroom上に事前学習課題（小テスト）や参考資料を提示しておく。なお，60分以上の事前学習が必要である。また，授業後は復習の課題や演習課題を共有し，学習内容の定着をはかる。						
(9)履修上の注意	・授業はオンライン同期型で開講するので，インターネットの通信環境と共に，Webカメラ及びマイクを使用できるようにしておくこと ・ディベート準備は，グループごとに授業外で準備が必要になる。グループで協力して進めること。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・研究室 木曜日 13:00～14:00 238-4175, muramatu@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	授業において適宜指示する						